

科学調査

●科学的分析の実施

発掘調査などで得られた土や鉱石などの資料をさまざまな科学的手法を用いて分析し、銀山の技術の解明に当たります。



分析試料のサンプリング

科学調査では特に発掘調査との連携が大切です。サンプリングは科学調査の担当者も立ち会い、調査状況などを確認し合います。

非破壊の分析

発掘調査で出土する貴重な資料を、奈良文化財研究所の分析装置を用いて壊さずに分析します。昨年度出土谷地区から出土した灰吹銀の分析状況。



●三次元計測の実施

於紅ヶ谷地区ではレーザー光線を使った三次元計測を行いました。遺構の細部から空間的な広がりまで立体的に表現できます。



三次元計測の作業風景

発掘調査した範囲に加え、周囲の地形の様子も合わせて計測しました。



科学調査研究会の開催

今年度は石見銀山と関わりの深い、佐渡金山のある新潟県相川町で行い、地元の人たちと交流することができました。また、佐渡奉行所跡や出土遺物の見学、島内の金銀山跡を視察し、石見銀山との比較を行いました。



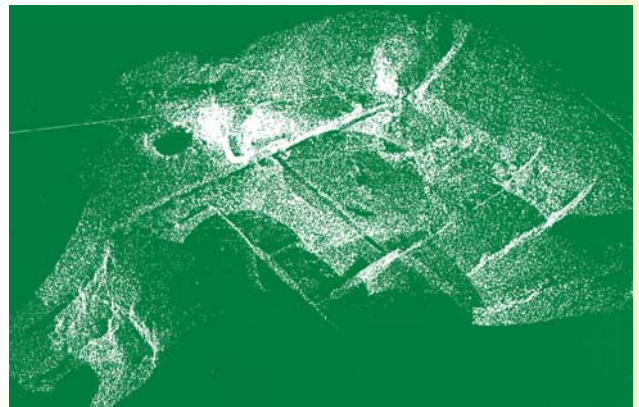
佐渡奉行所跡の見学

石見銀山では見られない、細長い炉跡や真ん中に仕切りのある炉跡が発見されています。



島内に残る鉱山跡の視察

地元の方の御協力で、相川金山をはじめ島内にある金銀山跡をつぶさに見学できました。



三次元データの点群画像

おびただしい数の測点で構成されています。あらゆる角度から画面を見ることができます。